

さらり

酒田市農業委員会報 No.34



「飛澤神社例祭の奴振り」 ～八幡・観音寺地区～

特集

農業の新たな可能性 (2、3面)

平成26年度酒田市農業委員会活動重点目標 (4面)

メリットいっぱいの農業者年金で将来設計を! (5面)

新規就農者の紹介 Fresh Farmer はじめの一步 (6面)

若手農業者リレーエッセー かぜ

農業一筋 短信 (7面)

酒田の“旬”を食す -春- (8面)

26年 春季号

農業の新たな可能性

農事組合法人

サンファーム大島田の設立

農事組合法人サンファーム大島田

代表理事 池田 義晴

八幡地域一条地区の集落営農組織サンファーム大島田が、平成二十六年一月に農事組合法人を設立した。集落内の農家九割が加入し経営面積は六〇・四ha。名称は「農事組合法人サンファーム大島田」代表理事 池田義晴 組合員二十名。集落営農組織と同時に主要基幹作業の田植え、コンバインの刈取作業を大型機械の導入によって共同作業を進めてきた組織。

トした。発足と同時に主要な基幹作業の効率化を求め、個人所有となっていた田植機、コンバインをすべて処分し大型農業機械に更新する案が提示された。当初は賛同する加入者で利用組合方式を前提としていたが、全員が更新案に賛成し個人所有の田植機、コンバインをすべて売却処分した。平成十九年に国の「強い農業づくり事業」により、八条植田植機三台（補助事業一台、補助事業外二台）、六条刈コンバイン二台（補助事業）、四条刈コンバイン一台（補助事業外）と農機具格納庫を取得し、水稲品種ごとのほ場を役員会で整理し大型機械の効率利用により、作業の効率化、作業員の集約化が図られ、これまでの家族労働が軽減され奥さん方々より大変喜ばれた。

集落営農組織の法人化については、視察研修や大学教授などによるコンサルタントなどを受け、大学の先生からは田植え、稲刈りのコンバイン作業を共同化しているのは、既に法人に踏み込んでいるのと同じなので早く取り組むべきと指導を受けた。こうしたことから、五年間の期限延長に際し農業者の高齢化、後継者問題などどこでも抱えている状況について、期限満了まで待つよりも足腰の丈夫なうちに、また農業政策が明るいうちに役員会で法人化案を作成し、これまで時期尚早との組合員の声が強かったが、平成二十五年二月の総会で法人設立案件を提示し承認を得た。

役員会が法人設立の発起人となり発起人会を設立、JA庄内みどり担い手支援課本間さんの指導を受け、ほぼ毎月発起人会を開き設立法人の名称、役員、出資金、定款などの作成に携わった。八月と十二月に法人化設立内容について説明会を開催し、法人本来の経営を目指しながら当面二、三年は組合員の収益を個別管理で行うこととした。

出資金は総額二百五十万円、組合員の利用権設定面積を所有面積と受託面積に分けて区分し、受託面積の出資額は所有面積出資額の五〇%とした。組合員の利用権設定面積六〇・四haに対し経営所得安定対策の規模拡大加算交付金一〇a当たり二万円が対象となり、総額千二百万円が経営の運転資金や農業機械の更新準備金として活用される。

水稲、大豆中心の経営体だが、農地の有効活用と法人の収益を求め園芸品目に取り組む計画を立てている。水稲の育苗ハウスを活用しミニトマト・ピンキーや娃娃菜などを栽培し、作る楽しみや収入を得る喜び、また組合員がいきいきと活躍できる場をつくり、農事組合法人サンファーム大島田が集落内農地の維持・発展、農村集落の環境・文化を守り続ける組織として発展していきたい。

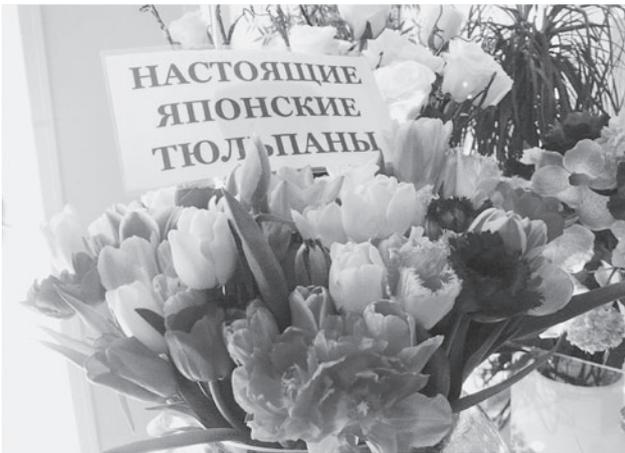




ウラジオストク マジックフラワー店内



ハバロフスク エンカシティでの販売の様子



新潟産チューリップ ハバロフスクの花屋さんにて



オランダ産 チューリップの販売風景

販路を求め新たなスタイル

新堀 柿崎 一美

三月五日から三月十日までの日程で、ウラジオストク、ハバロフスクに商談と市場調査、プロモーションを行って来ました。極東ロシアの情報は今回で三回目となりますが、ウラジオストクはサミット以降道路は整備され、街並みが綺麗な港都市に変わりを遂げたように思えます。

住民の生き生きと行き交う姿を見ると、これからまだまだ発展するであろうとの思いを強くさせます。ハバロフスクでは富裕層の購買力の強さを感じると感じさせるように、日本では考えられないくらいに、男性の方が値段の高い花を花束にして買っていきます。経済の上では、想像のつかないくらいに所得があるように思えます。輸出先のパートナーとしては、日本びいきな所も加味して、この上ない都市でありましょう。

ウラジオストクでのマジックフラワーとの話し合いは、次年度の取引の可能性を感じさせる

訪問となりました。また、今回はエンカシティだけでなく、道路を挟んだ向かい側のビルでもプロモーションを試みたり、インターネットでの販売を試験的に試みたりと、輸入業者ポータルセゾノフの前向きな取り組みには、これからの展望を垣間見たように思えます。

農産物の輸出は、これからの農業の未来を感じさせます。酒田の農産物を花だけに留まらず多方面の果樹や加工品の取り組みにも求められています。また、検疫、為替、流通等基本的な研修や今問題提起された色々な事柄の一つひとつを解決することを求められています。ポトピア酒田が極東ロシアと定期的に交流、交易がなされることを願っています。



かけがえのない 農地を守るために

平成26年度 酒田市農業委員会活動重点目標

農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積の推進、遊休農地対策の強化、農地基本台帳等の法定化などの具体的な取り組みに対応するため、平成26年度酒田市農業委員会活動重点目標を定めました。農家の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

重点目標

1. 農地中間管理機構への適切な対応
 - ・担い手への農地集積の促進
 - ・遊休農地解消に向けた活動と指導
2. 農地基本台帳の整備
3. 農業者年金の加入推進
 - ・J A担当職員を含めた事務研修会の継続実施
4. 農業委員会活動の「見える化」の推進
 - ・地域農業の世話役として、積極的な活動と情報提供
 - ・農業委員会出前相談の実施
 - ・農業委員の地域における農業関係団体への積極的な参画
5. 一時転用（山砂採取）許可農地の営農状況現地確認調査の実施



好評の出前相談

第1回 農業委員会の 出前相談を開催します

農地の貸借・売買・転用等農地に関することや農業者年金についてのご相談はありませんか？

農業委員が出向いて、ご相談をお受けいたします。

◇日時 6月5日(木)
午後1時30分～3時30分

◇場所 北部農民センター

◇対象地区
上田、本楯、南遊佐地区
(地区以外の方も参加いただけます)

※今後、上記以外の地区でも実施していく予定です。

農地基本台帳の調査にご協力ください！

農地利用の効率化を進めるために、農地台帳・地図の作成と公表が法定化されました。

これに伴い酒田市農業委員会では、農地基本台帳の搭載情報の精度向上を図るため、農地基本台帳の内容確認と貸借の意向調査等について、七月頃に農家の皆さまに調査をさせていただきます。

農地を有効に利用し次世代に継承していくためにも、皆さまのご協力をお願いいたします。

メリットいっぱいの 農業者年金で将来設計を！

農業者年金は国が支える安心の公的年金です。民間の保険・年金とは違い、制度の事務運営に要する経費は国が負担しています。このため、保険料のすべてを年金原資に充てることができ、同じ保険料でも多くの年金給付原資が期待できます。家族全員の将来を考え、ひとりひとり備えましょう。

① 幅広い方が加入でき脱退も自由！

加入の要件は下記の3つ（農地の権利名義を持っているか否かは関係ありません。）

- ・国民年金第一号被保険者であること
- ・60歳未満であること
- ・年間60日以上農業に従事していること

② 家族ひとりひとりが自分の年金を掛けられます！

女性は男性よりも平均余命が5年長いと言われています。男性の世帯主の老後だけでなく、奥様や後継者の将来についてもじっくり考えましょう。（近年の新規加入者の約4割は女性農業者です。）

③ 安心の積立方式・確定拠出型！

安全・安心を優先して可能な限りの利回りを確保する長期運用。毎年6月に加入者の皆さんに運用結果をお知らせします。

④ 保険料は自由に選択！

ライフステージに応じて負担を軽くしたり、積み増ししたり…いつでも見直し可能です。

⑤ 全額社会保険料控除で大きな節税効果！

支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。課税所得によって異なりますが、支払った保険料の15～30%の節税が可能。また、ご家族の保険料も一緒に申告すればさらに大きな節税になります。

⑥ 80歳までの保証付き！

農業者年金は終身受け取りができ、80歳前に亡くなってしまった場合でも死亡一時金をご遺族に支給されます。

⑦ 若い担い手の方には国庫補助！

20年以上の加入が見込まれ、認定農業者等の要件を満たす方には最大半額の国庫補助があります。

お問い合わせは農業委員会またはお近くのJAに。
農業者年金基金のホームページもご覧ください。

【農業者年金基金ホームページ：

<http://www.nounen.go.jp>】

農業者年金を 掛けてよかった！



八幡地区 高橋 善一さん

貰い始めてもう12年。汗水して働いたお金とまた違い、通帳に間違いなく振り込まれるお金、なんともいいものです。

孫3人の8人家族。孫たちも大きくなり、野菜作りに専念できる毎日です。これも健康で働ける喜びそのもの。

Fresh Farmer はじめの一步

～ 新規就農者の紹介 ～

子育て中



浜中地区
高橋 身依

「農業がしたいねん」と力強く宣言した夫と実家に帰ってきて五年目。

イチゴ、水稲、メロン、ケイトウ、大根などを両親と夫と一緒に栽培しながらもうすぐ二歳になる娘の育児をしています。

娘はイチゴが大好き！みんなで一生懸命手間ひまかけて作ったイチゴを、『おいしい』とほつぺをペチペチたたきながら食べてくれます。その姿を眺めているのがとても幸せで、もつとおいしいものを作りたい！と思う原動力になっています。新鮮なもの、栄養がたっぷりの旬なもの、この地域のを食べさせてあげたいと日々頑張っています。

昨年から若手女性農業者のグループ「すくすくあぐりネット」

に参加しています。産直の中町（まんなか）マルシェに出荷しながら月一回例会を開き、これからの店の動きやイベントを考えたり、同じような子育て中のママも多いので、話を聞いたり悩みを相談したり楽しみながら活動しています。一口に農家と言っても各家でさまざまなものを作っているので評価してもらえたり、情報交換したり、励ましあったりしてとても心強い存在です。今はみんなでハーブの苗つくり挑戦中で、ゆくゆくはハーブを使った料理教室や加工などもしていきたいと思いついています。

すくすくあぐりネットでは、メンバーを募集しています。農家にお嫁にきた方・跡取り娘さん・新規就農した方など、もし良ければ一緒に活動しませんか？農を通じて分かり合えることがあると思います。

これからも農業が楽しいものであるように努力していきたいです。



かぜ

～若手農業者リレーエッセー～



私は県外からのUターン就農で、今年で五年目になります。農家の生まれとは言え、田植えや稲刈りを少し手伝った程度しか農業の知識が無かったため、最初の一年は農業大学の研修に通い基礎から学ばせてもらいました。疑問に思った事も地区の農家の先輩方に親切に教えていただき、なんとか農家として恰好がつくようになって来たのではないかと思っています。

色々な研修に参加したり農協の青年部に入したりして、様々な農業関係者の知り合いも増え、情報交換が出来る場も多くなり心強い限りです。地区に同年代

農業で地域を支えたい

八幡・新出 御船 浩 弥

の農業者が少ない事もあって、青年部は特に良い刺激になっています。

農業を取り巻く問題も数多く有りますが、最近一番頭が痛いのは担い手が不足している事です。私の住む集落には営農組織があり今はやって行けてはいますが、それも一時しのごにしかならないでしょう。地域の若い人たちに、これだったら就農しても良いかな、と思って貰えるような環境作りが急務だと考えています。また、それによって都市部への人口流出に少しでも歯止めがかけられればとの期待もあります。せっかく地元に戻って来たのだから地域を面白くしたい、と言う意気込みでこれからも農業に励みたいと思います。



農業一筋

浜中地区

高橋 康雄
フクエ ご夫妻



康雄さん（七十一歳）とフクエさん（六七歳）ご夫婦のお宅を訪ねると、お二人で一緒に畑から戻ってくるところでした。毎日早朝から一緒に作業をしているとのこと、お二人の仲の良さが伝わってきます。

康雄さんは学校を卒業後すぐに就農し五十年近く農業に携わってきました。現在は二人の息子さんに経営を譲られておりますが、定期的に田の草刈りや水管理を手伝っています。

自然と駆け引きしながら工夫することが農業の魅力とのこと。浜中地区は、全国でもいち早く

メロン栽培を導入した地区で、プリンスメロンからアンデスメロンへと新しいことへの挑戦は、大変だったが夢中になるほど楽しかったと当時を振り返ります。過去には二十数年もの間、農業委員として酒田の農業の発展に尽力されてきました。真面目な人柄で地域の方からも信頼があり、今でも農業の相談を受けることが多いそうです。

農業を続ける秘訣は楽しみながらも我慢することと考えており、これからの農家には、農業情勢に合わせた経営を行う対応力を鍛えてほしいとのこと。

人とのつながりを大切にしながらも信頼されるお二人、これからも支え合いながら楽しく農業を続けてください。

（川村洋委員）



短 信

自民党の

プロジェクトチーム来市

三月二十四日に、自民党の「農業委員会・農業生産法人に関する検討プロジェクトチーム」が酒田市を訪れ、初めての意見交換会を開催しました。

酒田市長、農業委員会長らが出席し、農業の現状と課題等について議論を交わしました。

農業者年金受給権者現況届の

提出は六月末まで

現在、農業者年金を受給されている方が引き続き年金を受給するためには「農業者年金受給権者現況届」を必ず提出しなければなりません。現況届の用紙は、五月下旬に農業者年金基金から直接受給者の皆さまへ送付されます。

六月二日からの受付となりますので農業委員会事務局、各支所の窓口まで提出してください。

なお、農業者老齢年金のみ受給の方については、郵送による提出や市役所閉庁時の地下宿直室での受付も行います。

酒田市永年勤続表彰 受賞

後藤保喜委員は、平成九年から現在まで十六年間に、農地利用集積や農政全般にわたり地元の相談役として活躍され、地域農業の発展に寄与されました。



後藤保喜委員（平田）

農業委員会事務局の新体制

事務局局長 藤井 昌道
事務局次長 後藤 学
農地主査 土井 保子
農地主査兼農地係長 佐藤まゆみ

農地係調整主任 五十嵐則子
農地係主任 安倍 誠
農地係主事 加藤伸一朗
八幡支所調整主任 菅原 正志

松山支所主任 渡部 真澄
平田支所主任 阿部 聖
よろしくお願ひします。

酒田の“旬”を食す 春



「食の都庄内」
親善大使
レストラン ロアジス
グランシェフ
太田 政宏

春の魚といえば、桜鱒や川鱒が思い浮かびますが、酒田漁港に4月ごろから真鯛が出はじめます。鱒と同様に桜鯛と呼ばれ、花見時や祭によく食べられています。

今回は、洋風でシンプルなポアレを作ってみました。

真鯛のポアレ・バルサミコとトマトソース

材料（4人前）

- ・真鯛の切り身……………80gを4枚
- ・天使の海老……………4本
- ・エリンギ……………2本
- ・小松菜……………4本
- ・サラダオイル……………少々
- ・塩コショウ……………少々

（トマトソース）

- ・トマト……………1ケ
- ・ワインビネガー……………小さじ1杯
- ・オリーブオイル……………大さじ1杯
- ・タイム……………少々
- ・塩コショウ……………適量

（バルサミコソース）

- ・バルサミコ酢……………120cc



真鯛のポアレ・バルサミコとトマトソース

作り方

- ① トマトは湯むきし、種を取り5mm角に切って鍋に入れ、ワインビネガー、オリーブオイル、タイム、塩コショウを入れトロットとするまで火にかけ、トマトソースを作る。
- ② バルサミコ酢を鍋に入れ、トロットとするまで煮詰める。
- ③ 真鯛の切り身と天使の海老に塩コショウする。エリンギも薄切りし、塩コショウする。
- ④ フライパンにサラダオイルを入れ、鯛を強火で皮の方から焼いていき、焼色がついてきたら裏返し、天使の海老、エリンギを入れて焼く。
- ⑤ 小松菜は塩ゆでしておく。
- ⑥ 皿にトマトソースとバルサミコをきれいに飾り、エリンギをおき、その上に鯛をのせ、海老と小松菜を飾る。

四〇代の時、営農口座を見た妻から、農業会計と家計の分離、ガソリン等の現金払いを指摘された。以来毎月営農口座のチェックは欠かさない。低コスト化も経営には重要なことであるが、人との絆を第一に肥料の購入先は変えていない。

平成三〇年度には、生産調整見直しが実施される予定になっている。地域内では、話題にはなるものの具体的対応はまだ見えない。日本の農業も農村も大きくかわるかもしれない。TPP交渉結果ともども目が離せない。

(一六)

編集 後記



今年は一週間早く、種まきの準備作業にとりかかり、農閑期で休んでいた心身にスイッチを入れた。育苗方法も様変わりし、作業コストを考えると直播がいいとは誰しも考えるが、初期投資が必要なことと、雑草に負けないかの不安がつきまとう。

私は従来どおり苗床用の土を入れての育苗方法だから、家族や親戚が多数手伝いに来てにぎやかな作業となる。みな毎年楽しみにしているらしい。